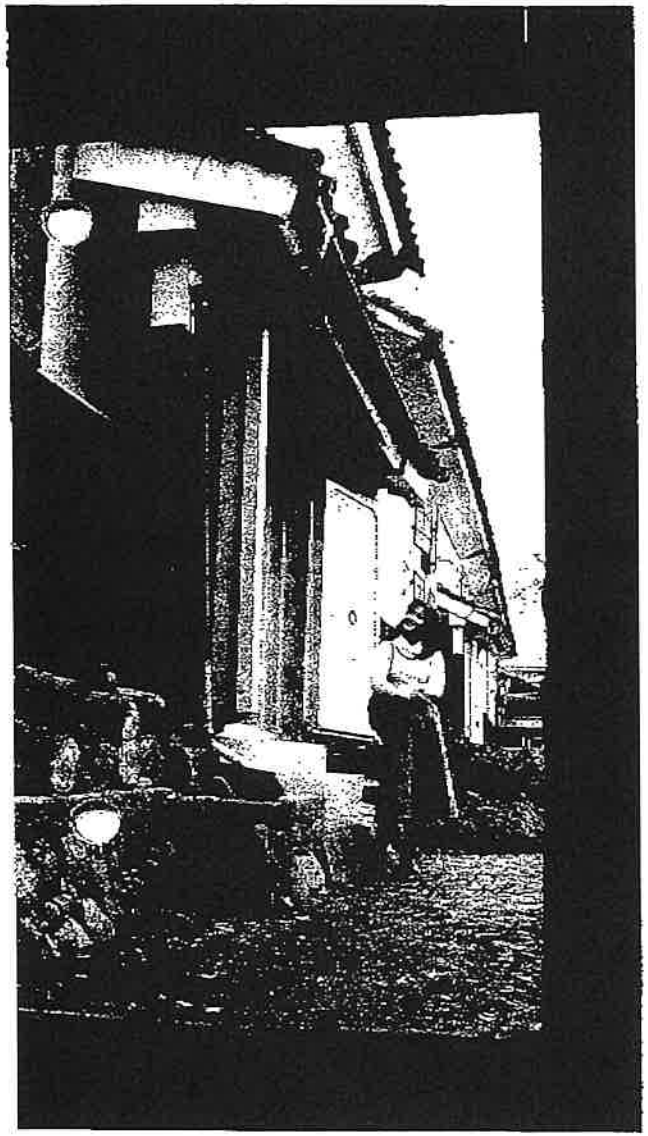

会津喜多方会々報

創刊号

昭和53年８月

東京・会津喜多方会

ごあいさつ

会津喜多方会々長
渡　部　辰　巳

昨年、会津喜多方会の創立総会が喜多方商工会議所の御尽力により東京銀座東急ホテルで開かれました。そして、皆様方のご推挙により不肖私が会長に就任いたすことになりました。このたび、会員名簿発行を機会に一言ご挨拶を申し上げたいと存じます。

私は熱塩温泉場の出身ですが、終戦後母校であります早稲田大学に奉職して今日に至っているのであります。その早大の校歌の中に「心のふるさと我等が母校」という言葉があります。我々が生まれ育った「喜多方」は我々の現実の故郷であるとともに、まさに心のふるさとでもあります。

人は故郷を想うとき誰でも童心にかえると言われます。又、我々は大東京での職場のふれあいで、或は縄のれんの店内でのふれあいの中で、たまたま隣人が同郷人であると聞いただけで、他人という冷たい障壁が一ぺんに薄れてしまうことを経験したことがあります。同郷とは嬉しくも又懐しいものであります。

「喜多方会」はそうした同郷であるという素朴な感情の中から自然に生まれたものであります。「喜多方会」には特別の目的がある訳ではありません。郷里を同じうする者が、異郷の地で集まって郷里を語り合う親睦の会であります。わが郷土「喜多方」の山河や風土や産業や生活、そして酒や女について、手ばなしで語り合い、のろけ合い、懐しみ合う集いであります。郷土を想うことによって、一つに結ばれる精神的結合はいかなる場合においても必要であると思います。そしてその結合の輪がひろがって郷土喜多方の発展と平和につながれば望外の喜びであります。現在の会員は八百余名に達し、東京とその近郊において、政界，財界，産業界，教育界等々あらゆる分野で活躍されております。しかし、なお未加入の方もあると思います。どうか未加入の同郷人にお知り合いがありましたら、是非加入されるよう慫慂して戴きたいと存じます。私は、会員諸兄のお力添えを戴き、「会津喜多方会」の今後の発展に対し微力ながら全力を尽し、「喜多方会に入ってよかった」と思うような会にしたいと念願いたしております。最後に各位のご健勝を祈ってご挨拶といたします。

以　上

設立経過報告書

S 52.

6月3日　在京喜多方会結成懇談会を開催
市内四高校長、同窓会長と結成についての懇談をしたところ全員賛成し、結成目標11月中とする

9月8日　会津喜多方会（仮称）結成準備懇談会　　后6時より　於　銀座東急ホテル
○　参集者35名　商工会議所正副会頭、専務、喜高、喜商、喜工同窓会長
○　参集者全員結成について賛成　当日参集者全員発起人となり発起人代表に渡部辰巳氏及び4高校より代表発起人4名を決め、事務所を星二良氏事務所とすることを決めた。

9月29日　発起人会代表者会議開催
后6時より　於　早大　大隈会館
○　参集者　渡部発起人代表ほか5名　会頭、専務
○　打合事項
1. 事務所の明記
2. 事業及び予算案について
3. 役員の構成及びメンバーについて
4. 相談役、顧問委嘱について
5. 年会費の額について
6. 終身会員と会費額について
7. 設立総会日時、場所、会費について

10月18日　準備（会場等）についての打合わせ
○　会場の下見分と孔雀庁マネージャーとの打合せ

11月2日　会津喜多方会設立総会経過報告会　　於　建設協会
○　参集者　喜高、商高、工高、女子高の各校の校長、同窓会長、会議所側　会頭、石嶋副会頭、専務、高橋恭一郎、唐橋賢児、小野瀬正
当日までの経過と案内状発送各高校別枚数の打合せ
喜　高　　約350枚（会議所）

▲

商　高	約200枚（東京支部）
工　高	約100枚（工高一会議所）
女子高	約170枚（会議所）
ほ　か	80枚（　〃　）
計	900枚

11月7日　設立総会準備打合せ

○　各校発起人会世話人会　　后2時より　日商会員談話室

参会者　星、荒川、長谷川、神林各氏　会議所　芳賀副会頭、専務

打合せ事項

総会順序、受付、出席者名簿、祝宴などについて細部打合せ

11月17日　設立総会打合せ　　后3時より　星事務所

○　当日の諸準備について細部打合せ

星、長谷川、本名、二瓶各氏、専務

○　東急ホテル孔雀庁との細部打合せ

設立総会順序

とき　昭和52年11月23日（祝日）午後2時15分より
ところ　銀座　東急ホテル地下1階　孔雀廊

1. 開会のことば　　商工会議所副会頭　芳賀信平
2. あいさつ　　〃　会頭　小野寺弥吉
　　荒川発起人代表
3. 議長選出　　商工会議所副会頭　石嶋虎吉
4. 経過報告について　　〃　専務　女池義江
5. 議事
　議案第1号　会則（案）の承認について
　議案第2号　役員の選任について
　議案第3号　相談役、顧問の推せんについて
　議案第4号　次期総会開催日の決定について
6. 来賓祝辞　　（知事メッセージ、市長、議長、会津会代表）
7. 閉会のことば

懇親会祝宴